

放射性物質含有下水汚泥対策

環境省より受託

長期保管された放射性物質含有下水汚泥の減容化実証事業 福島市堀河町終末処理場

- ◆放射性物質を含む保管下水汚泥等(約7,700t)の乾燥処理による減容化事業
- ◆JS(代表)、新日鉄住金エンジニアリング、三菱総合研究所の3者共同で実施
- ◆仮設乾燥施設はH25.4に稼働開始、H26.8末に全量乾燥完了(約8割減容化)
- ◆放射物質を含むダストの飛散防止のため、施設は建屋内に設置し負圧管理を実施
- ◆敷地境界に設置したモニタリングポストで空間線量率を監視



脱水汚泥の保管状況



脱水汚泥の移送状況

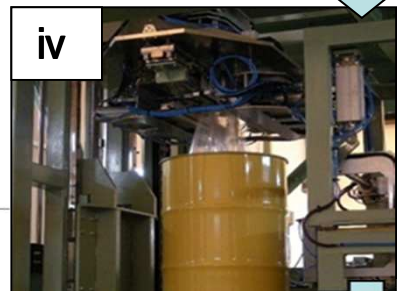


仮設乾燥施設全景
(処理能力30t/日)

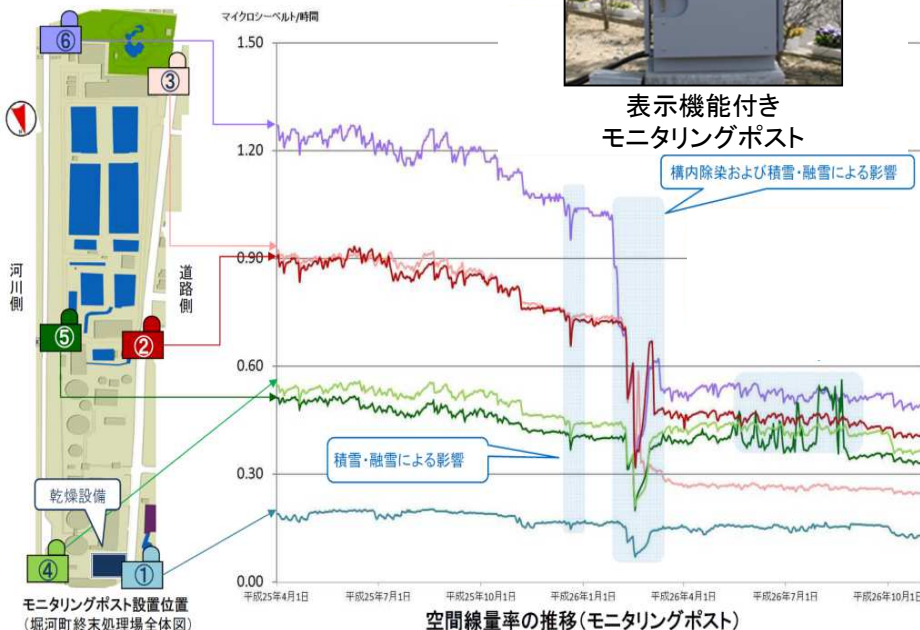
仮設乾燥施設の稼働期間中、
処理場周辺6箇所に設置した
モニタリングポストで空間線量率
の上昇は見られず



表示機能付き
モニタリングポスト



乾燥汚泥のドラム缶封入



ドラム缶の仮保管状況